

# Panasonic

## 取扱説明書

ディスクレコーダー管理ソフトウェア  
PCソフトウェアパッケージ

品番 WV-AS60

このたびは、PCソフトウェアパッケージをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。
- PCソフトウェアパッケージをインストールする際に、ソフトウェア使用許諾契約書をよくお読みになり、同意していただける場合のみ、インストール作業を行ってください。

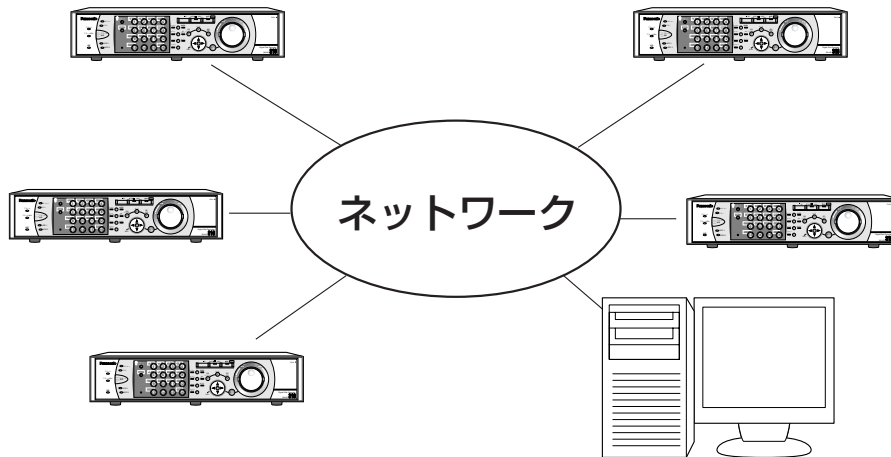
# はじめに

## 商品概要

PCソフトウェアパッケージ（WV-AS60：以下、本ソフトウェアと呼ぶ）はLAN（Local Area Network）やインターネット（以下、ネットワーク）に接続された最大100台までの弊社製デジタルディスクレコーダーWJ-HD300シリーズ（以下、レコーダー）を統合管理し、Microsoft® Windows® 上で動作するソフトウェアです。

本ソフトウェアを使用することにより、レコーダーに接続されているカメラの映像を遠隔のパーソナルコンピューター（以下、PC）のモニターに表示したり、レコーダーに録画されている映像をPCから操作しPCのモニター上で再生したり、レコーダーに録画されている映像をPCのハードディスクにダウンロードして管理することができます。ダウンロードした画像は時刻やその他の条件で検索し再生できます。

## システム構成図



本ソフトウェアは、次の2種類の実行ファイルから構成されます。

「メインアプリケーション」：メインアプリケーションは、次の二つのモードで動作します。

<ネットワークモード>

ネットワーク経由で、レコーダーを遠隔操作するモードです。

接続しているカメラのライブ映像を見たり、録画した映像の再生操作を行ったりします。

<ローカルモード>

PCのハードディスクにダウンロードした画像ファイルにアクセスするモードです。

ダウンロードした画像ファイルの再生、検索を行います。

「ダウンローダー」

：レコーダーに録画されている映像のダウンロードを行います。

PC起動時に起動し、常駐ソフトとして動作します。起動中はタスクバーにアイコンが表示されています。

ダウンローダーからメインアプリケーションを起動することができます。

なお、メインアプリケーションを終了しても、ダウンローダーは終了しません。

録画映像を自動でダウンロードするスケジュール機能を使用する場合は、ダウンローダーを終了させずに常に動作させておくようにしてください。

ダウンローダーを終了させるとメインアプリケーションも終了します。

## 機能概要

### (1) ダウンロード機能

レコーダーに録画されている画像をPCのハードディスクにダウンロードします。ダウンロードされた画像ファイルは本ソフトウェアで再生することができます。ダウンロードには、スケジュールダウンロードとマニュアルダウンロードがあります。

- ・スケジュールダウンロード  
あらかじめ設定されているスケジュール設定（ダウンロード開始時間とダウンロードする期間等）に従って、ダウンロードが自動でダウンロードを実行する機能です。
- ・マニュアルダウンロード  
レコーダーの録画映像を再生しながらダウンロードする期間を指定して画像ファイルをダウンロードします。

#### 重要！



- ・レコーダーでホスト認証をONにした場合、未登録のホストPCからダウンロードできません。

### (2) レコーダーのリモート操作

レコーダーのライブ映像や再生映像を16チャンネルまで同時に見ることができます。表示パターンは1画、4画、9画、16画の4パターンで、表示位置と表示カメラの組み合わせを自由に選択することができます。画面数とカメラ配置をお気に入りとして登録しておくことで、その映像をダイレクトに表示させることができます。ライブ／再生映像を表示しているカメラに対して、次のような操作を行うことができます。

- ・カメラ操作  
パン／チルト操作やズーム等の操作ができます。
- ・状態表示  
レコーダーの状態（アラーム、録画、エラー等）を画面上に表示します。
- ・検索再生  
録画イベントサーチ、VMDサーチ、マーキングサーチの3種類の検索機能を使用して録画映像を検索し、再生することができます。
- ・本体操作  
マニュアル録画の開始・停止、録画映像へのテキストの添付、レコーダーのログ表示、コピーなどのレコーダー本体操作ができます。

### (3) 画像ファイル管理

- ・ファイルの管理  
ダウンロードした画像ファイルはデータベースに登録されます。登録されたファイルはレコーダー・日時・録画イベントなどのフィルターを使用して抽出することができます。画像ファイルにはコメントをつけることもでき、そのコメントをキーにした検索も可能です。また、画像ファイルにはユーザーごとに新着／確認済みというアイコン（、）（83ページ）がついていますので、ダウンロードされた画像ファイルが一目でわかるようになっています。
- ・ファイルの再生  
複数チャンネルを指定してダウンロードした場合は、多チャンネル(1、4、9、16CH)で再生が可能です。4ファイル同時再生では、画面の4つの再生コントロールに再生したいファイルをドラッグ&ドロップすることでそれぞれ再生が可能です。また、画像ファイルの印刷や、JPEG画像として保存、CD-RやDVDに保存するために一定時間分の画像を保存することも可能です。

#### (4) アラーム管理機能

- 登録レコーダーのFTPアラーム送信からアラームログを作成し管理します。アラームログ更新時に最新の情報をステータスバーに通知します。この通知からダイレクトに再生を行うことができます。

(FTPサーバー連携機能)

イベント発生時にレコーダーがFTPサーバーへ録画映像を自動送信する（FTPアラーム送信）機能を利用して、PCのFTPサーバーディレクトリに送信されてくる録画情報をアラームログに追加します。PCのFTPサーバーディレクトリをレコーダーのSETUP MENUと本ソフトウェアの両方に登録する必要があります。設定は、「設定編\_レコーダー設定」（136ページ）をご覧ください。レコーダーの設定はレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

※この機能を使用する場合、本ソフトウェアがインストールされているPCにおいてIIS（Microsoft® Internet Information Services）が動作している必要があります。

※レコーダーからFTPサーバーへ送信される映像は、イベント録画の開始時刻から設定した時間の映像です。イベントが連続して発生する場合は、はじめに発生したイベント録画の開始時刻から設定した時間の映像のみ送信されます。

#### (5) セキュリティ機能

- ユーザー認証機能の搭載により、ユーザー名とパスワードにてユーザーを管理します。本ソフトウェアでは、本ソフトウェアを管理する管理者（ADMINユーザーと呼ぶ）と、通常操作のみが可能な登録されたユーザーとの2種類の操作者を用意しています。ユーザーにはユーザータイプによって操作できる機能を限定することができます。また、レコーダーが提供するレベル制限、プライオリティ制御と組み合わせることで、レコーダーのリモート操作において、レコーダーと連動したきめ細かいユーザー管理を行うことができます。

##### 重要！

- 本ソフトウェアをユーザー認証ありで使用する場合は、レコーダーのユーザー認証もONに設定してください。レコーダーのユーザー認証がOFFに設定されていると、本ソフトウェアからは常にADMINユーザーでアクセスすることになります。

ユーザー認証の設定に関しては、お使いのレコーダーの取扱説明書ネットワーク設定編「他の機器との通信に関する設定[通信]」-「ネットワークに関する基本設定を行う[NW基本設定]」（レコーダーに付属のCD-ROM内PDFファイル）をご覧ください。

#### (6) ローカルPCのメンテナンス機能

- PCのハードディスクの空き容量管理  
本ソフトウェアは、ダウンロードを行う時に保存先のハードディスクの容量をチェックします。空き容量が少なくなり、ダウンロードしたファイルを保存できない可能性がある場合は、ダウンロードを行いません。
- 画像ファイルの一括削除  
指定した日付よりも前に録画された画像ファイルを検索し、該当するファイルがあれば削除します。
- 録画日時から一定期間たった画像ファイルを削除する  
保存期間を設定しておくこと、1日1回、本ソフトウェアがその期間を過ぎた画像ファイルを検索し、該当するファイルがあれば削除します。

## 付属品をご確認ください

CD-ROM*	1
インストールガイド	1
ラベル（プロダクトキー）	1

※: CD-ROMには、PCソフトウェアパッケージのインストールプログラムと取扱説明書（本書）、Readme.txtファイルが納められています。インストールする前に、Readme.txtを必ずお読みください。

## 商品仕様

・レコーダー登録可能数	: 最大100台
・ユーザー登録可能数	: 最大32名
・ユーザータイプ数	: 5タイプ
・スケジュール登録可能数	: 最大400件
・お気に入り登録可能数	: 最大500件
・同時ダウンロード数	: 最大10アクセス
・同時カメラ映像表示数	: 最大16カメラ
・同時ファイル再生数	: 最大4ファイル

※:1台のレコーダーに複数のPCから本ソフトウェアを使用してアクセスする場合、最大4台のPCからアクセス可能です。（レコーダーの同時接続可能な最大ユーザー数は8ですが、本ソフトウェアは内部的に2ユーザーを使用します。）

WebブラウザによるアクセスやFTP接続によりユーザー数超過が発生すると、レコーダーとの接続が切れ、黒画面が表示される場合があります。

## 本書の構成

本書は、準備編、操作編、設定編、参考に分かれています。

本書ではWindows® XP Professionalをご使用の場合を例に説明しています。その他のOSをご使用の場合やOSの設定によっては、画面表示が異なる場合があります。

### 【準備編】

本ソフトウェアをインストールする方法と操作するのに必要な準備を説明します。

### 【操作編】

本ソフトウェアのメイン画面や機能ごとの操作を説明します。

画面仕様から確認する場合は、「主な画面遷移」（26ページ）からお読みください。

機能から確認する場合は、「ライブ映像を見る」（42ページ）からお読みください。

### 【設定編】

本ソフトウェアにおけるレコーダーやユーザー、スケジュール、オプションの設定方法を説明します。まず、運用を開始する前に必要な設定を行ってください。

### 【参考】

「故障かな!？」や表示メッセージの対処方法、アフターサービスについて説明しています。

## 動作環境

PCソフトウェアパッケージは以下のシステム環境を持つPCにインストールできます。

OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional SP4日本語版 Microsoft® Windows® XP ProfessionalまたはHome Edition SP2日本語版
コンピューター	IBM PC/AT互換機
CPU	Pentium® 4 1.4 GHz以上
メモリ	512 MB以上
CD-ROMドライブ	本ソフトウェアのインストール時に必要
ハードディスク容量	アプリケーションのインストール用として80 MB程度必要*
画面	1024×768ピクセル以上の解像度、HIGH color 16ビット以上 (フルカラー環境を推奨)
インターフェース	10/100Mbpsのネットワークインターフェースカードが内蔵されていること
ウェブブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 6.0 SP1 上記以外のウェブブラウザをご使用の場合、動作の保証はいたしません。

※：レコーダーから取得したファイルの保存先として、アプリケーションのインストールとは別に、容量を用意する必要があります。

注)：サウンドカードがないと音声再生できません。

注)：本ソフトウェアのインストールや起動は、管理者ユーザーで行ってください。管理者ユーザー以外のユーザーがインストールまたは起動した場合の動作は保証いたしません。

注)：本ソフトウェアはPCのシステムスタンバイモードおよび、システム休止状態モードでの動作は保証いたしません。

## 商標および登録商標について

- ・ Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Intel®およびPentium®はアメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。
- ・ Adobe®、Adobeロゴ、およびAcrobat®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- ・ その他の社名または商品名は各社の商標または登録商標です。

## 免責について

弊社は、いかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- (1) 本製品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- (2) お客様の誤使用や不注意による障害または本製品の損傷等
- (3) お客様による本製品の逆コンパイル、逆アセンブルが行われた場合
- (4) デジタルディスクレコーダーからダウンロードしたデータ等のパソコンにおける消失、あるいは漏洩等によるいかなる損害、クレーム等

## 用語について

本書では、以下の用語を用いて説明しています。

用語	説明
レコーダー	デジタルディスクレコーダー WJ-HD300シリーズのことです。 WJ-HD300シリーズとは、WJ-HD316、WJ-HD316A、WJ-HD350のことです。画面上は、WJ-HD300 Seriesと表示されます。
カメラ	レコーダーに接続されているカメラです。
ダウンロード	レコーダーに録画されている映像をPCへ転送することです。ダウンロードにはスケジュールとマニュアル（ユーザーが再生映像を見ながらダウンロードする）があります。
スケジュール	自動でレコーダーから録画映像をダウンロードするための設定です。ダウンロードを実行する時間とダウンロードする期間などを指定しておく、この設定に従ってダウンロードが自動でダウンロードを実行します。
画像ファイル	レコーダーに録画されている映像をダウンロードしたものです。本ソフトウェアにて再生することができます。 ※スケジュール設定のチャンネル選択方法により、ファイルに含まれるチャンネル数が変わります。詳しくは、「設定編_スケジュール設定」（153ページ）をご覧ください。 ※マニュアルで画像ファイルをダウンロードする場合は、常に1チャンネル分のファイルとなります。
メインアプリケーション	本ソフトウェアの主な操作を実現するアプリケーションです。ネットワーク経由でレコーダーの操作を行うネットワーク機能と、レコーダーからダウンロードした画像ファイルを再生するローカル機能があります。本ソフトウェアの操作は、基本的にメインアプリケーションから行います。
ダウンローダー	PCに常駐し、ユーザーからの操作やスケジュール設定に従い、レコーダーから画像ファイルをダウンロードします。
ユーザー	本ソフトウェアを操作する人のことです。管理者（ADMIN ユーザー）と登録されたユーザーが存在します。本ソフトウェアの設定やメンテナンスは、管理者のみ可能です。
イベントログ	レコーダーに発生したイベントを記録したログです。
イベント動作	イベント発生時にレコーダーが行う特別な動作です。詳細についてはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
録画イベント	録画を開始するトリガとなるイベントや操作のことです。VMD（動き自動検出）、TERMINAL（端子アラーム）、COMMAND（コマンドアラーム）、VIDEO LOSS（ビデオロス）、EMERGENCY（緊急録画開始）、MANUAL（マニュアル録画開始）、SCHEDULE（スケジュール録画開始）があります。

用語	説明
録画イベントサーチリスト	録画されている映像から録画イベント検索してレコーダーが作成するリストです。「録画開始日時・録画チャンネル・録画イベント」が含まれます。
FTPサーバー連携機能	<p>レコーダーのFTPアラーム送信機能により送信されてくる録画映像をアラームログに追加し管理する機能です。この機能を使用する場合、本ソフトウェアがインストールされているPCにおいてFTPサーバーソフトが動作している必要があります。</p> <p>Windows® XP Professional、Windows® 2000 Professionalにおいては、インターネットインフォメーションサービス (IIS) のFTPサーバーを使用することができます。IISは標準ではインストールされていません。[コントロールパネル] の [プログラムの追加と削除] の [Windowsコンポーネントの追加と削除] を選択し、[Windowsコンポーネントウィザード] で [インターネットインフォメーションサービス (IIS)] を追加してください。</p> <p>追加が完了したら、[マイコンピュータ] を右クリックして、「管理」を選び、「コンピュータの管理」画面を立ち上げてください。[サービスとアプリケーション] の中から、[インターネットインフォメーションサービス (IIS)] を選択し、FTPサーバーの設定を行ってください。</p> <p>IISのインストール・設定方法については、Windows®のマニュアルまたはヘルプをご覧ください。</p> <p>Windows® XP Home Editionの場合は、別途FTPサーバーソフトを用意してください。</p>
アラームログ	FTPサーバー連携機能で取得した情報から本ソフトウェアが独自に作成するログです。このログから画像ファイルを検索して再生することができます。
ライブ映像	レコーダーに接続されているカメラの現在の映像です。



# もくじ

## はじめに

商品概要	2
システム構成図	2
機能概要	3
付属品をご確認ください	5
商品仕様	5
本書の構成	5
動作環境	6
商標および登録商標について	6
免責について	6
用語について	7

## 準備編

インストール／アンインストール	15
インストール	15
アンインストール	15
レコーダーと接続する	16
PCとレコーダーを直接接続する	16
既存のネットワークにレコーダーを組み込む	16
ネットワーク設定を行う	17
レコーダーのネットワーク設定を行う	17
PCのネットワーク設定を行う	17
レコーダーを登録する	19

## 操作編

<メインアプリケーション>  
メインアプリケーションについて

メインアプリケーションの表示と終了	21
メインアプリケーションを表示する	21
メインアプリケーションを終了する	22
ネットワークモードとローカルモード	23
ネットワークモード	23
ローカルモード	23
モードの切り替えかた	23
ユーザー管理について	24
本ソフトウェアにおけるユーザー管理の考え方	24
管理者（ADMINユーザー）について	24
ユーザーについて	24
主な画面遷移	26

# 操作編

<メインアプリケーション>  
ネットワークモードで使用する

ネットワークモードの画面について	28
「操作」画面	28
画像配置エリアに割り当てられたカメラチャンネルを入れ替える	38
「検索結果」画面	39
<b>ライブ映像を見る</b>	<b>42</b>
レコーダーの映像を見る	42
選択したカメラの映像を見る	44
1画で見る	44
表示したい場所で見ると	44
全画面表示で見ると	45
お気に入りに登録された映像を見る	46
<b>画面数や映像の表示位置を切り替える</b>	<b>47</b>
1画で表示する	47
4画で表示する	48
9画で表示する	49
16画で表示する	49
表示している映像をクリアする	50
全てのエリアを選択する	50
<b>カメラを操作する</b>	<b>51</b>
<b>カメラの配置を保存する</b>	<b>53</b>
お気に入りの登録	53
登録名を変更する	55
登録を削除する	55
<b>再生する</b>	<b>56</b>
<b>録画映像をダウンロードする</b>	<b>57</b>
録画映像を手動でダウンロードする	57
スケジュールを設定して自動でダウンロードする	59
<b>録画映像を検索して再生する</b>	<b>60</b>
録画イベントから検索する	60
録画映像の中から映像に動きのある日時を検索する	62
マーキングから検索する	66
検索結果から再生する	67
選択したリストを再生する	67
多画面で再生する	68
<b>印刷する</b>	<b>69</b>
<b>レコーダーのログを確認する</b>	<b>70</b>
レコーダーからログを取得する	70
ログを確認・保存する	71
イベントログを見る	71
障害ログを見る	71
アクセスログを見る	72
ネットワークログを見る	72
<b>レコーダーを操作する</b>	<b>73</b>

## 操作編

<メインアプリケーション>  
ネットワークモードで使用する

マニュアル録画を開始・停止する	73
録画映像を別のディスクにコピーする (ダビング)	74
アラーム動作を解除する	76
ブラウザからレコーダー設定を行う	77
テキストを編集する	78

## 操作編

<メインアプリケーション>  
ローカルモードで使用する

ローカルモードの画面について	80
「リスト」画面	80
「1ファイル再生」画面	85
「4ファイル再生」画面	88
ローカルモードで画像ファイルを確認する	91
ファイル一覧を表示する	92
サムネイル付きリストを表示する	93
ファイルを削除する	94
ファイルにコメントをつける	95
リストデータを絞り込む (フィルター機能)	96
フィルターのON/OFFを行う	98
アラームログを確認する	99
サムネイル付きリストを表示する	100
画像ファイルを再生する	101
「リスト」画面から再生する	101
「1ファイル再生」画面から再生する	102
連続再生を行う	103
再生しながら音を聞く	104
画像ファイルを同時に再生する	105
「リスト」画面から再生する	105
「4ファイル再生」画面から再生する	106
1ファイルに切り替えて再生する	107
時刻を指定して頭出しをする (ジャンプ機能)	108
印刷する	109
ファイルとして保存する	110
動画として保存する	110
JPEG画像として保存する	113
メンテナンス	114
PCのディスク容量を確認する	114
指定した日より前のデータを一括削除する	115
保存期間を設定して自動的に削除する	117
システムログを確認する	119
システムログを保存する	120

**操作編**

<ダウンローダー>

<b>ダウンローダーの起動と終了</b> .....	<b>122</b>
ダウンローダーの起動.....	122
スタートメニューからの起動.....	122
ダウンローダーの終了.....	123
<b>ダウンロード状況を確認する</b> .....	<b>124</b>
「ダウンローダー」画面を表示する.....	124
「ダウンローダー」画面の説明.....	124
ダウンロード情報を削除する.....	129
ダウンロード対象から外す.....	130
ダウンロード対象に戻す.....	131
ダウンロードログを確認する.....	132
「ダウンローダー」画面を閉じる.....	134

**設定編**

<b>レコーダー設定</b> .....	<b>136</b>
レコーダーを登録する.....	136
カメラの設定をする.....	141
レコーダーごとにまとめて設定する.....	141
カメラごとに設定する.....	143
登録したレコーダー情報を編集する.....	144
登録したレコーダーを削除する.....	145
<b>ユーザー設定</b> .....	<b>146</b>
ユーザーを登録する.....	146
登録したユーザー情報を編集する.....	148
登録したユーザーを削除する.....	149
ユーザータイプを設定する.....	150
パスワードを変更する.....	151
<b>スケジュール設定</b> .....	<b>153</b>
スケジュールを新規に作成する.....	153
スケジュールを無効にする.....	155
スケジュールを編集する.....	156
スケジュールを削除する.....	157
<b>オプション設定</b> .....	<b>158</b>
メインアプリケーション設定.....	158
ダウンローダー設定.....	160

参 考

故障かな！？……………162

表示メッセージと対処方法……………164

    [OK] ボタンクリック時……………164

        「操作」画面の表示と終了……………164

        レコーダーを登録する……………165

        カメラの設定をする……………166

        ユーザーを登録する……………166

        パスワードを変更する……………167

        スケジュールを新規に作成する……………167

画像ファイル再生時……………168

レコーダー登録時の [接続テスト] ボタンクリック時……………168

オプション設定の [保存] ボタンクリック時……………168

# 準備編

# インストール／アンインストール

## インストール

本ソフトウェアのインストール手順を以下に示します。

### 操作手順

1. 付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットします
2. setup.exe をダブルクリックします
3. 画面の指示に従ってインストールを行います  
インストール時に、プロダクトキーの入力が必要です。本CD-ROMに同梱されているラベルの「プロダクトキー」（20桁の半角数字）を入力してください。

標準設定のままインストールした場合、「C:\¥Program Files¥Panasonic¥WV-AS60」フォルダーが作成されます。「WV-AS60」フォルダー内に実行ファイル（as60.exe）等がコピーされます。

インストールが完了すると、実行ファイルはスタートメニューに登録されます。

## アンインストール

本ソフトウェアが不要になった場合の削除（アンインストール）手順を以下に示します。

※レコーダーから取得したファイルは削除されません。

### 操作手順

【Windows XPの場合】

1. コントロールパネルの【プログラムの追加と削除】を実行します
2. 現在インストールされているプログラムから「WV-AS60」を選択し、【変更と削除】ボタンをクリックします  
アンインストールプログラムが起動します。
3. 画面の指示に従ってアンインストールを行います

【Windows 2000の場合】

1. コントロールパネルの【アプリケーションの追加と削除】を実行します
2. 現在インストールされているプログラムから「WV-AS60」を選択し、【変更と削除 (C)】ボタンをクリックします  
アンインストールプログラムが起動します。
3. 画面の指示に従ってアンインストールを行います

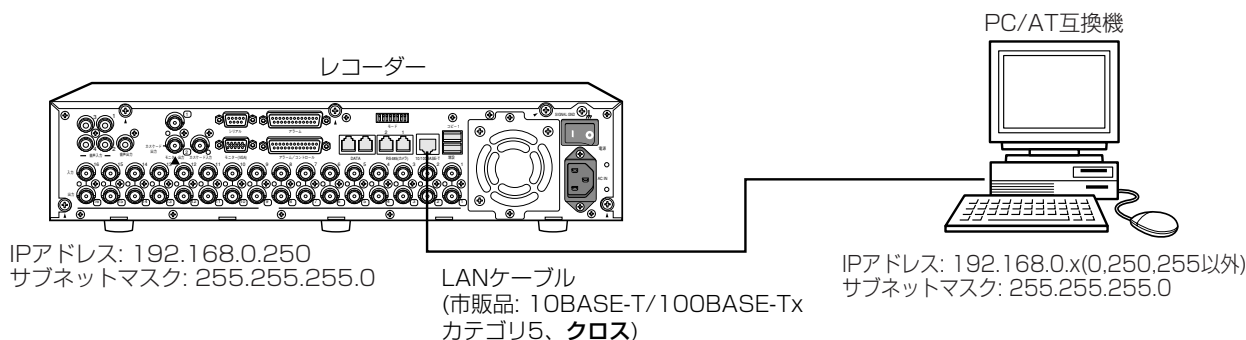
# レコーダーと接続する

PCとレコーダーを接続します。接続のしかたによって必要なハードウェアやケーブルが異なります。接続を始める前に確認し、準備してください。

※本章はレコーダーの初期設定に合わせて説明しています。IPアドレス等はお使いのネットワーク構成に合わせて変更してください。

## PCとレコーダーを直接接続する

PCとレコーダーを直接LANケーブルで接続します。

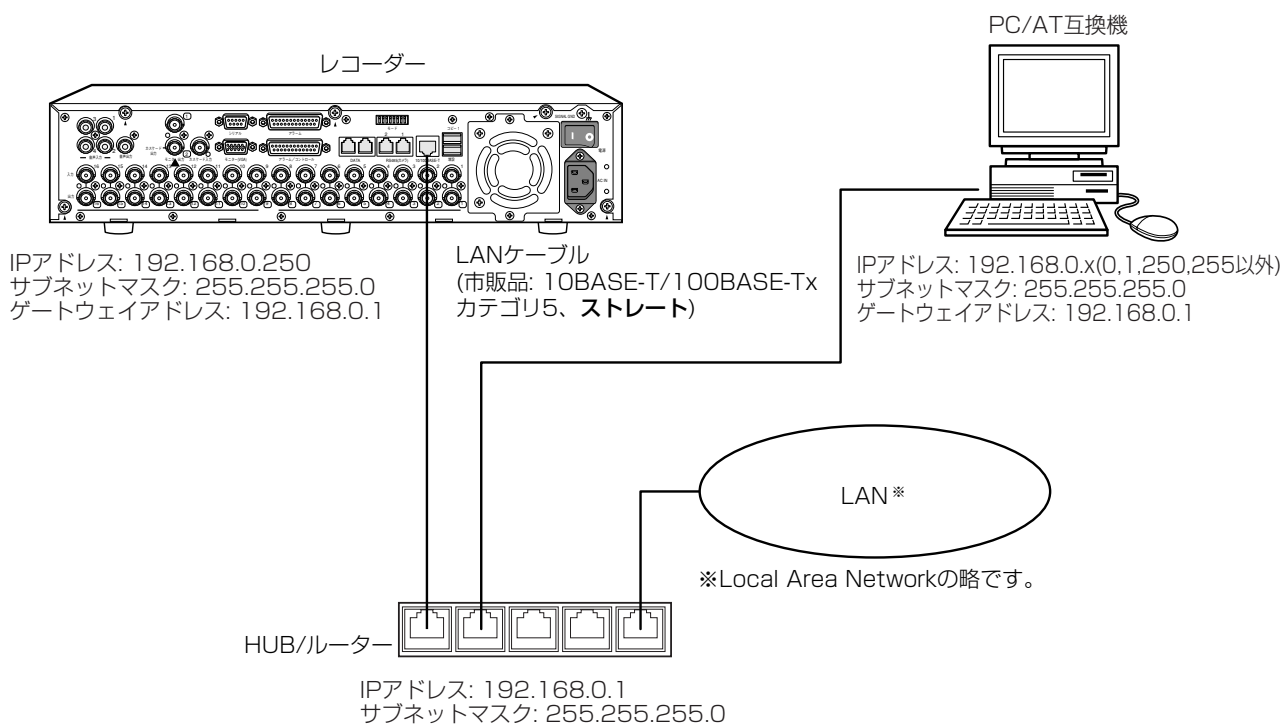


### 重要!

- ・ PCとレコーダーを直接接続する場合 (HUB/ルーターを使用しない)、LANケーブルはクロスケーブルをご使用ください。

## 既存のネットワークにレコーダーを組み込む

PCとレコーダーをHUB/ルーター経由で接続します。レコーダーとHUBとはLANケーブルで接続します。





## ネットワーク設定を行う

PCのネットワーク環境が以下の場合、設定は不要です。

IPアドレス: 192.168.0.2~192.168.0.249、192.168.0.251~192.168.0.254

サブネットマスク: 255.255.255.0

ゲートウェイアドレス: 192.168.0.1

上記以外に設定されている場合、レコーダーまたはPCのネットワークの設定を行ってください。

## レコーダーのネットワーク設定を行う

レコーダーをPCの環境に合わせる場合は、レコーダーのSETUP MENUで設定を行います。

操作方法など詳細については、レコーダーの取扱説明書に記載されています。「設定する」 - 「他の機器との通信に関する設定 [通信]」 - 「ネットワークの接続に関する設定を行う [NW接続設定]」の項をお読みください。

## PCのネットワーク設定を行う

PCのTCP/IPの設定をレコーダーの設定に合わせて変更します。

レコーダーを初期設定で使用する場合、レコーダーにアクセスするには、PCのIPアドレスを「192.168.0.XX (XXは1と250を除く2~254のうちいずれか)」に設定する必要があります。

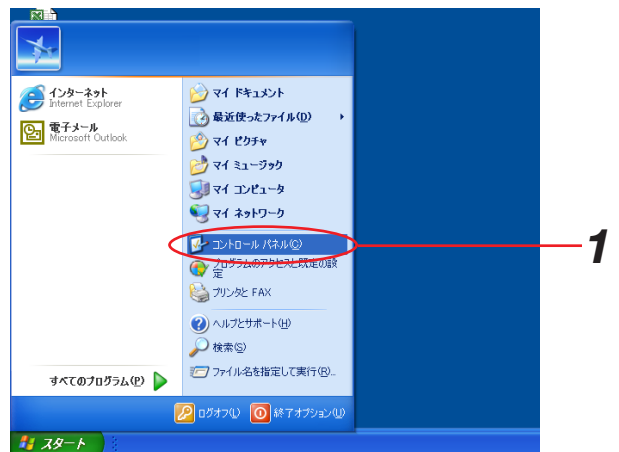
説明は、PCを起動した直後の画面から始めます。

### 操作手順

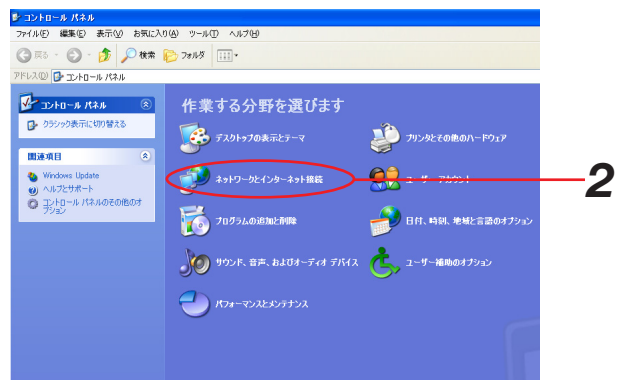
1. スタート画面からコントロールパネルを選択します  
コントロールパネルが表示されます。

### 重要!

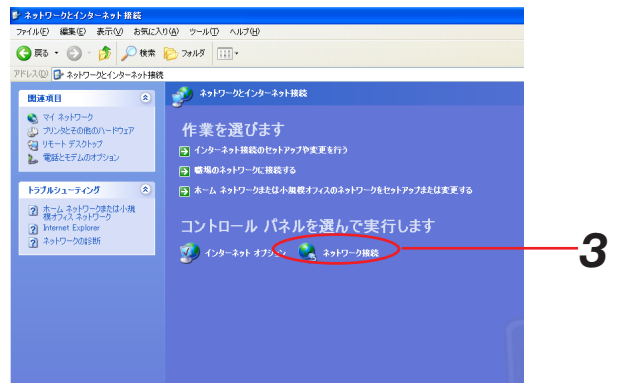
「コンピュータの管理者」権限のあるユーザーでログインし起動してください。



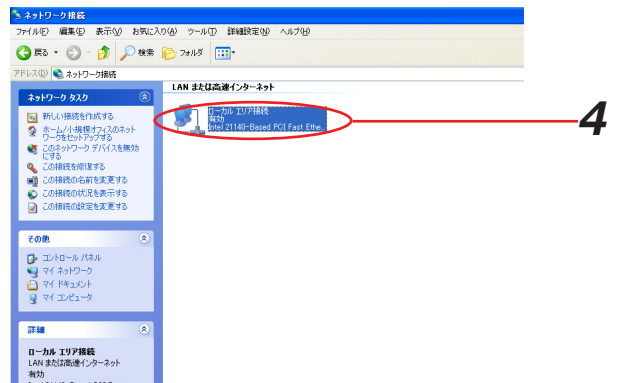
2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします  
「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。



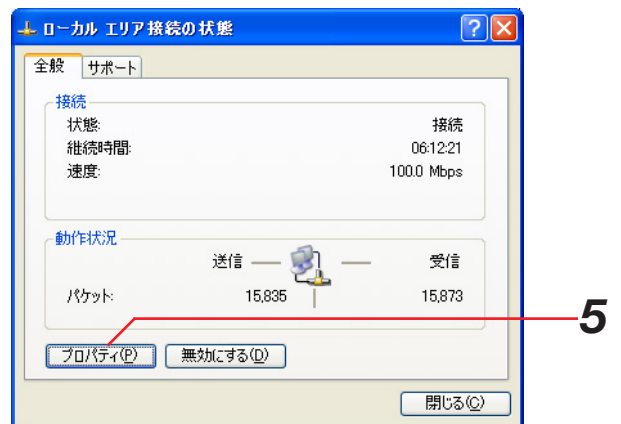
3. [ネットワーク接続] をクリックします  
「ネットワーク接続」画面が表示されます。



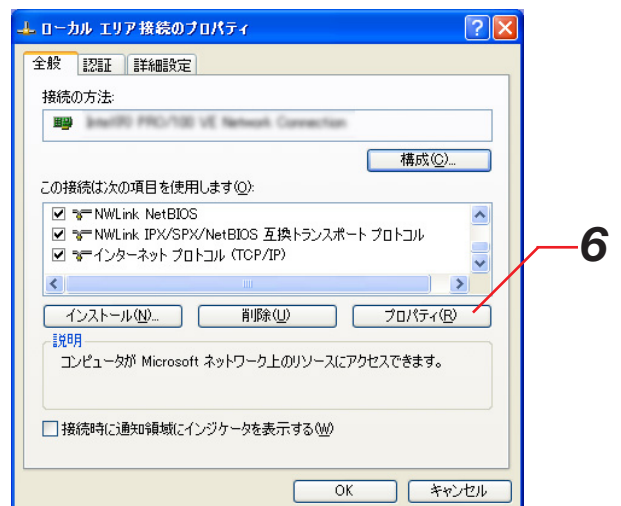
4. [ローカルエリア接続] をダブルクリックします  
「ローカルエリア接続の状態」画面が表示されます。



5. [プロパティ (P)] をクリックします  
「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。



6. [インターネットプロトコル (TCP/IP)] をクリックし、  
[プロパティ (P)] をクリックします  
「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面が表示されます。

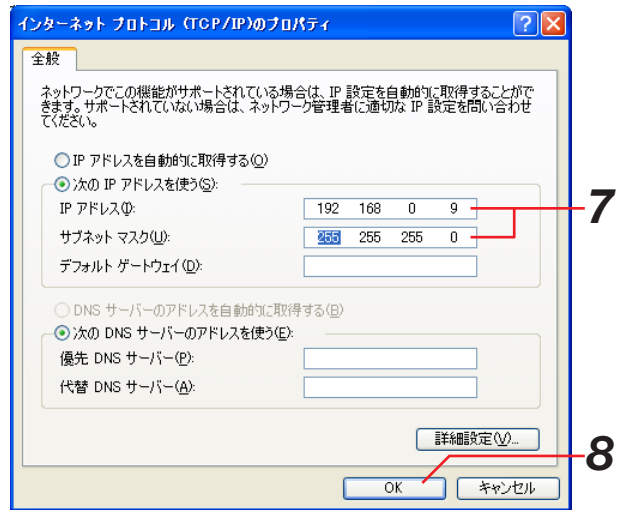


## 7. [次のIPアドレスを使う (S)] をクリックし、「IPアドレス (I)」と「サブネットマスク (U)」を以下のよう に設定します

- ・ IPアドレス：192.168.0.9
- ・ サブネットマスク：255.255.255.0

ネットワークの構成によっては「デフォルトゲートウェイ」の設定が必要です。設定については、システムの管理者にご確認ください。

## 8. [OK] ボタンをクリックします 画面が閉じます。



# レコーダーを登録する

レコーダーから録画映像をダウンロードしたりレコーダーの録画映像を再生したりするために、レコーダーの情報を登録する必要があります。設定のしかたについては、「設定編\_レコーダー設定」(136ページ)をご覧ください。

### お知らせ

レコーダーを登録する画面では、登録されたアドレスにレコーダーが接続されているかを確認する接続テストを行います。本ソフトウェアでレコーダーの登録を行う前に、レコーダー本体の設定とネットワークへの接続を確認してください。この接続テストが成功しないと、正式に登録できません。

# 操 作 編

---

<メインアプリケーション>  
メインアプリケーションについて

# メインアプリケーションの表示と終了

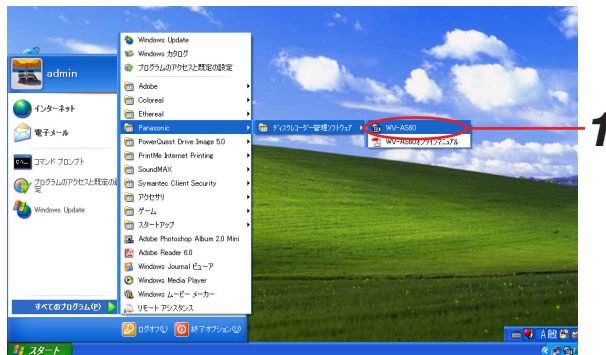
## メインアプリケーションを表示する

メインアプリケーションの表示手順について以下に示します。

### 操作手順

1. スタートメニューから「すべてのプログラム (P)」 - 「Panasonic」 - 「ディスクレコーダー管理ソフトウェア」 - 「WV-AS60」を選択し、メインアプリケーションを起動します

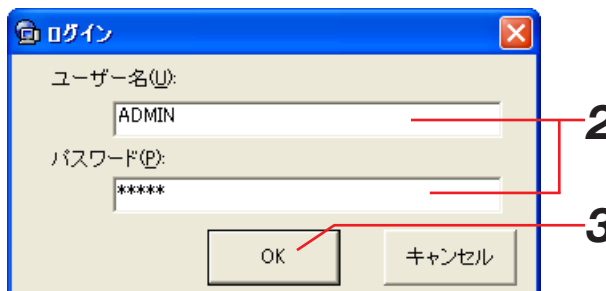
起動画面が表示された後、「ログイン」画面が表示されます。



2. 登録している「ユーザー名」と「パスワード」を入力します

インストール直後は、ADMINユーザーのみ登録されています。ユーザー名「ADMIN」、パスワード「12345」を入力してください。

セキュリティを確保するために、ADMINのパスワードは運用開始前に必ず変更してください。また、定期的に変更してください。パスワードの変更方法は、151ページをご覧ください。

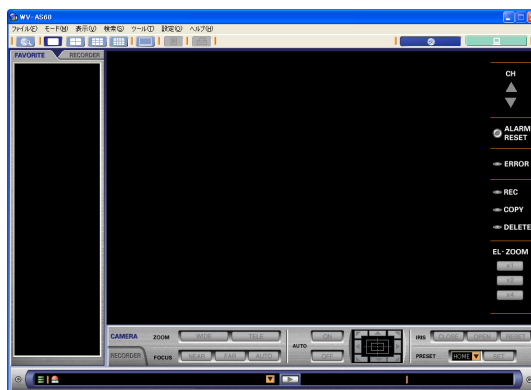


### お知らせ

特定のユーザーで常にログインするオートログインを選択することもできます。初期設定は「ユーザー認証あり」(オートログインしない)になっています。ユーザー認証の変更は「オプション」画面で行います。設定については、「設定編\_オプション設定」(158ページ)をご覧ください。

3. [OK] ボタンをクリックします

「ネットワークモード・操作」画面が表示されます。



### お知らせ

- ・お気に入り登録されている場合、そのお気に入りから起動します。
- ・オプション設定で起動画面をローカルモードに設定している場合、「ローカルモード・リスト」画面が表示されます。

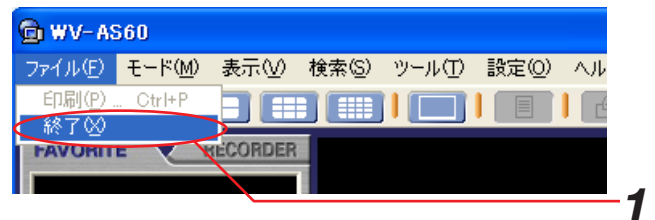
※ [OK] ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。「表示メッセージと対処方法」(164ページ)をご覧ください。

# メインアプリケーションを終了する

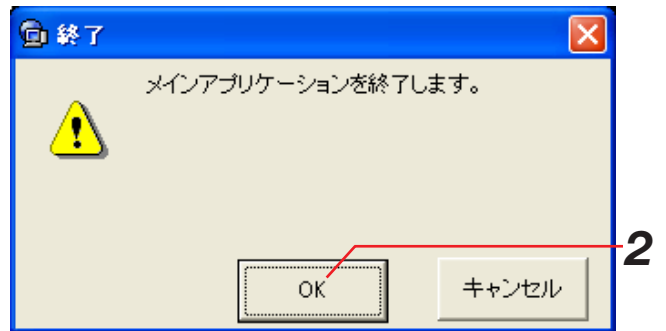
メインアプリケーションの終了手順について以下に示します。

## 操作手順

1. メニューから【ファイル (F)】 - 【終了 (X) ...】 を選択するか、タイトルバーの【×】 ボタンをクリックします  
終了画面が表示されます。

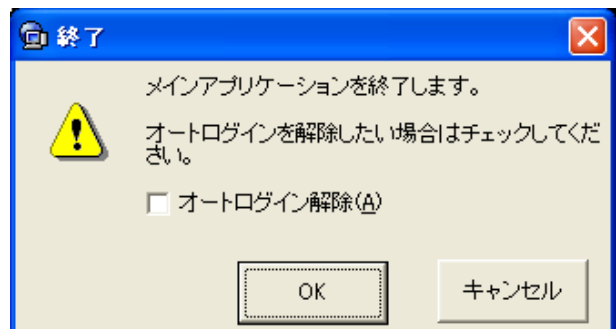


2. 【OK】 ボタンをクリックします  
操作画面が終了します。



## お知らせ

- ・メインアプリケーションを終了しても、ダウンローダーは終了しません。ダウンローダーを終了させる場合は、「ダウンローダーの終了」(123ページ) をご覧ください。
- ・オートログインの場合、終了画面でオートログインの解除ができます。オートログインの解除を行う場合は、オートログイン解除チェックボックスをチェックして終了してください。次回起動時は「ログイン」画面が表示されます。



# ネットワークモードとローカルモード

メインアプリケーションはネットワークとローカルの二つのモードで動作します。

## ネットワークモード

ネットワークに接続されたレコーダーのライブ映像を見たり、録画映像を再生したりすることができます。同時に表示できるチャンネル数は最大16（16画表示）です。チャンネル数は1（1画表示）、4（4画表示）、9（9画表示）に切り替えられます。1台のレコーダーのチャンネルだけを見ることもできますし、複数のレコーダーからチャンネルを選択して見ることもできます。また、レコーダーのマニュアル録画開始・停止や、コピーなどの操作をすることができます。

よく見る映像を、お気に入りとして登録しておくと、次回ログイン時に表示される最初の画面にすることができます。

レコーダーに録画されている映像を検索することができます。検索方法には、録画イベントを検索する方法、録画映像の中から映像に動きのある日時を検索する方法、マーキングを検索する方法があります。複数のレコーダーを同一条件で同時に検索することができます。（VMDサーチは1台のレコーダーのみになります。（62ページ））録画映像を再生しながら、ダウンロード開始日時とダウンロード終了日時を設定し、ダウンロードに登録することができます。

## ローカルモード

レコーダーからダウンロードした録画映像を再生することができます。録画映像は、ダウンロードする際に指定されたチャンネル数分を1つのファイルとして保存されます。

1つのファイルを再生する方法と、4つのファイルを同時に再生する方法があります。1つのファイルを再生している時は、含まれているチャンネルを多画（4画、9画、16画）で同時に再生することができます。4つのファイルを同時に再生している時は、それぞれ1チャンネル分しか再生することができません。

ダウンロードした録画映像の一定時間分のデータをファイルとして保存することができます。このファイルとビューワーソフトを使用すれば、AS60がインストールされていないPCで録画映像を再生することができます。また、録画映像を一枚の静止画像（JPEG画像）として保存することもできます。

## モードの切り替えかた

モードの切り替えは、画面のツールバーにあるアイコンをクリックして行います。



# ユーザー管理について

## 本ソフトウェアにおけるユーザー管理の考え方

本ソフトウェアでは、管理者（ADMINユーザー）と登録ユーザーという2種類のユーザーを管理しています。登録ユーザーは設定などの操作ができません。登録ユーザーがログインした場合、登録ユーザーが操作できないメニューは表示されません。

管理者だけが操作できる項目は次のとおりです。

- ・システムログの閲覧（119ページ）
- ・ダウンロードした録画映像の削除（94ページ）
- ・レコーダーの登録・編集・削除（136ページ）
- ・ユーザーの登録・編集・削除（146ページ）
- ・スケジュールの登録・編集・削除（153ページ）
- ・オプション設定（158ページ）

## 管理者（ADMINユーザー）について

- ・管理者はお買い上げ時に1人登録済みで、全ての操作・設定が可能です。
- ・お買い上げ時、ユーザー名とパスワードは以下のように設定されています。  
ユーザー名：ADMIN  
パスワード：12345
- ・セキュリティを確保するために、ADMINユーザーのパスワードは運用開始前に必ず変更してください。また、定期的に変更してください。パスワードの変更方法は、151ページをご覧ください。
- ・管理者を削除することはできません。また、管理者を追加することもできません。
- ・管理者がログイン時にネットワーク経由でレコーダー操作を行う場合はそのレコーダーのADMINユーザーとして操作します。

## ユーザーについて

- ・最大32人登録することができます。
- ・お買い上げ時は登録されていません。必要に応じて登録を行ってください。（ユーザー設定）
- ・ユーザーにはユーザータイプがあり、この設定によってユーザーが可能な操作を制限することができます。ユーザータイプの設定は「ユーザータイプ」画面（150ページ）で行います。

### 重要！

ユーザーがログイン時にネットワーク経由でレコーダー操作を行う場合、本ソフトウェアに登録されているユーザー名、パスワードを使用します。

そのため、本ソフトウェアに登録しているユーザーをレコーダーのユーザー設定に登録しておく必要があります。運用中にどちらかの設定を変更した場合、もう一方の変更も忘れずに行ってください。それを忘れずと、レコーダー操作ができなくなることがあります。



## お知らせ

ユーザー登録時に、各レコーダーのユーザー設定と本ソフトウェアのユーザー設定を組み合わせることで、ユーザーごとに操作可能なレコーダーを設定したり、レコーダーの操作制限を細かく設定することが可能です。

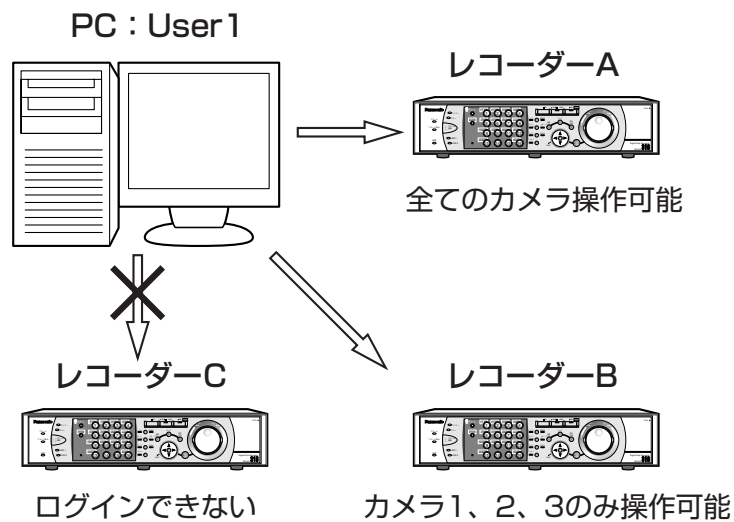
## <設定例>

レコーダーA、B、Cのそれぞれに次のようにユーザー設定を行うことができます。

レコーダーA：登録時に全てのカメラ操作可能と設定。

レコーダーB：登録時にカメラ1、2、3のみ操作可能と設定。

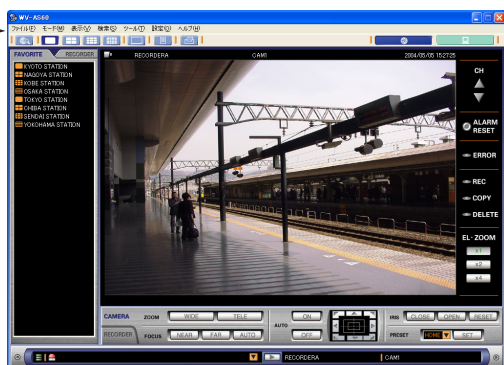
レコーダーC：登録しない。



# 主な画面遷移

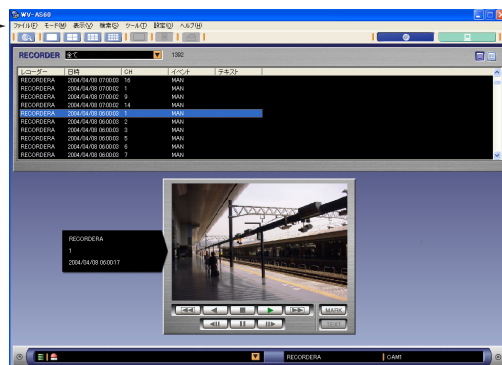
## ログイン

ネットワークモード



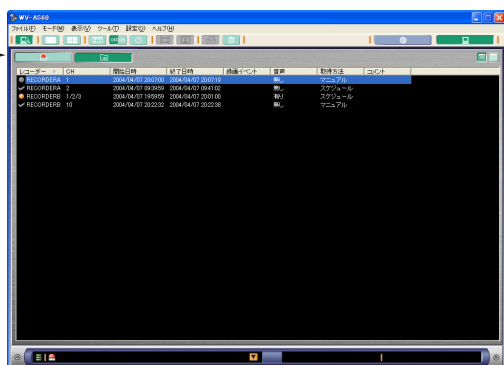
「ネットワークモード・操作」画面 (28ページ)

オプション設定 (158ページ) で起動画面をネットワークに設定している場合、ログイン時にネットワークモードのトップ画面として「ネットワークモード・操作」画面が表示されます。



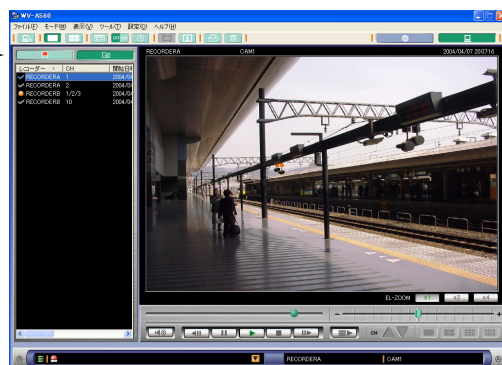
「検索結果」画面 (39ページ)

ローカルモード

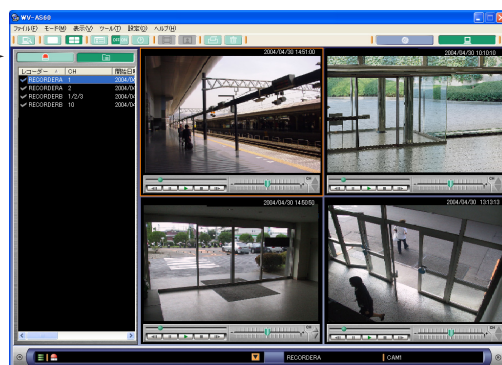


「ローカルモード・リスト」画面 (80ページ)

オプション設定 (158ページ) で起動画面をローカルに設定している場合、ログイン時にローカルモードのトップ画面として「ローカルモード・リスト」画面が表示されます。



「1ファイル再生」画面 (85ページ)



「4ファイル再生」画面 (88ページ)